

正誤表

『「使える」教育心理学』（福村出版）2009年4月出版

第2章 学習と動機づけ

第1刷

文責：島田英昭（信州大学教育学部）

出版後、以下の誤りが見つかりました。訂正をお願いいたします。ご迷惑おかけしまして、申し訳ありません。

■P48L26

誤：白いウサギ

正：ウサギ

※正しくは、「ウサギ」です。また、「白いネズミ」も、正しくは「シロネズミ」です。

■P50L23

誤：「・・・ようにします。これを負の強化と呼びます。負の強化をするためには罰を与えます。叱ることは、罰の一つです。」

正：「・・・ようにします。これを、罰と呼びます。」

※ここで説明している「負の強化」は「罰」（もしくは、「正の罰」）の説明です。「負の強化」は「罰」とは異なる概念です。ここでの「罰」は、「強化」の対になるものです。初歩的な誤解であり、大変失礼いたしました。

■P50L25

誤：「・・・禁物です。罰を与えられすぎると、「何をやってもだめ」ということを学習してしまいます。」

正：「・・・禁物です。不快なことが回避できない状態に長く置かれると、「何をやってもだめ」ということを学習してしまいます。」

※「罰」という用語を一般的に使われている意味（不快なこと）でとれば、誤りではありませんが、誤解を招くため修正いたします。

上記は、第2刷で修正される予定です。ご迷惑おかけしましたこと、お詫びいたします。今後気をつけますので、よろしくをお願いいたします。

2010/10/13